

三木市記者発表資料 (令和6年12月24日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
教育総務部 文化・スポーツ課	課長 手島三知子 (内線 3550)	文化遺産係 (みき歴史資料館)	0794-82-5060

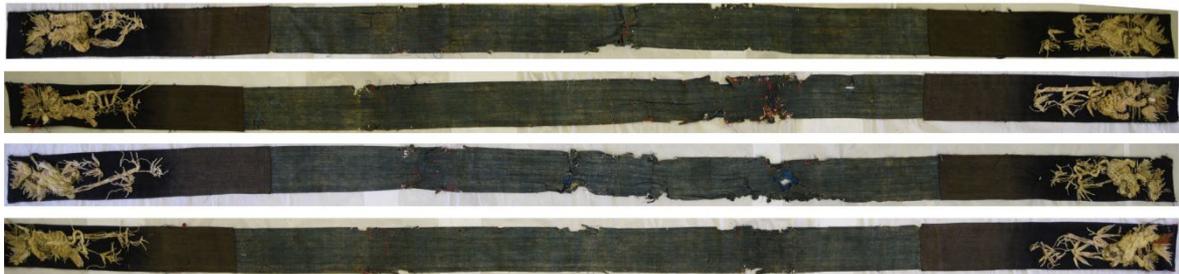
タイトル	
<b>六社神社屋台の旧水引幕などを三木市指定文化財に指定</b> ～「屋台の旧水引幕・高欄掛け・布団締め」を市指定有形民俗文化財に～	
本件のポイント	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋台用具としては、三木市で初めて市指定有形民俗文化財になりました。</li> <li>・水引幕と高欄掛けの収納木箱は、これらの製作年代や世話人等が特定できる貴重な資料であることから、附けたり指定としました。</li> </ul>	
説明文	
<p>12月20日付けで、下記の文化財を三木市指定文化財に指定しました。</p>	
<b>1 指定文化財の名称</b>	六社神社屋台の旧水引幕・高欄掛け・布団締め
<b>2 指定文化財の種別</b>	有形民俗文化財
<b>3 所有者</b>	三木市
<b>4 所在地</b>	三木市上の丸町4番5号 (みき歴史資料館)
<b>5 指定日</b>	12月20日
<b>6 附けたり指定</b>	収納木箱
<b>7 文化財の概要</b>	<p>六社神社(細川町中里)の旧屋台用具。先代水引幕1点、先々代高欄掛け4点、先代布団締め4点からなる。水引幕と高欄掛けは、慶応3年(1867)の製作であり、布団締めは同時期もしくはそれに近い時期の成立と考えられる。これらは、その技法から江戸時代末から明治時代にかけて活躍した縫師の岩田虎市の作品とみられる。</p>
<b>8 指定理由</b>	<p>江戸時代末頃の水引幕、高欄掛け、布団締めが現地で揃っていた希有な例である。修復箇所が少なく、製作時の姿を良くとどめており、播州屋台の当時の刺繍技法を知る上で貴重な資料であるため。</p>
<b>9 ホームページ</b>	<p><a href="https://www.city.miki.lg.jp/site/mikirekishishiryokan/76644.html">https://www.city.miki.lg.jp/site/mikirekishishiryokan/76644.html</a></p> 



水引幕



高欄掛け



布団締め



収納木箱



三木市  
SDGs未来都市



誇りを持って暮らせるまち三木

本案件は次の SDGs 目標に関連します。

4 質の高い教育を  
みんなに

